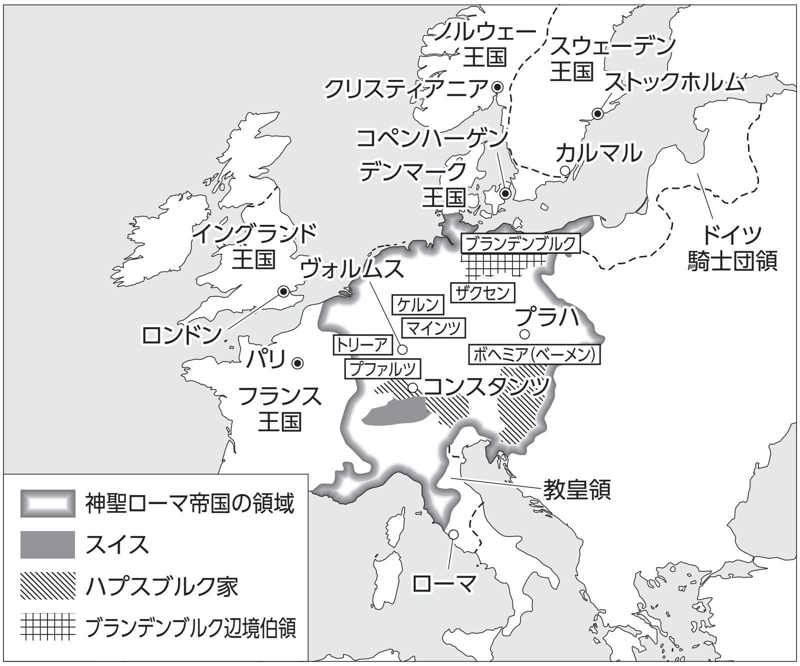
第8講 【中世編】 中世ヨーロッパ世界の変容

PART5 ヨーロッパ各地の状況

Chapter 1 ドイツ, スイス, 北欧の状況

目標
金印勅書が定めたことや, それによりドイツがどうなっていったのか学ぼう。
中世の北欧で主導権を握った国はどこだろう。



ドイツ，北欧，スイスの勢力図

1 ドイツの分裂

①神聖ローマ皇帝の〔　　　　　　　　　　　　〕

10～13世紀，歴代の神聖ローマ皇帝が，イタリア半島の権益を求めて行ったイタリア介入政策。教皇やイタリア諸都市が抵抗

→ドイツ国内の統治が疎かになり，国内が分裂

※ドイツの諸侯は**領邦諸侯**と呼ばれる。

②〔　　　　　　　　　　〕

シュタウフェン朝が途絶え，1256年から1273年まで神聖ローマ皇帝が不在となる

③皇帝選挙制

1356年　皇帝カール4世が〔　　　　　　　　　〕を発布。7人の**選帝侯**が多数決によって皇帝を選出する**皇帝選挙制**を定める

※マインツ大司教，トリーア大司教，ケルン大司教，ベーメン王，ザクセン公，ファルツ伯，ブランデンブルク辺境伯の7名。

※諸侯領（領邦）や自由都市に関税徴収権などの特権が与えられる。

1438年　アルブレヒト2世が神聖ローマ皇帝として即位。以降，オーストリアの〔　　　　　　　　　　　　　　〕が帝位を世襲

→帝国の統一に努めるが失敗。最多期には300余りの領邦が分立

④〔　　　　　　　　　〕の推進

12～14世紀，ドイツ人によるエルベ川以東への植民・開墾運動が行われる

→ドイツ騎士団による〔　　　　　　　　　　　　　　〕や，**ブランデンブルク辺境伯領**が設置される

2　スイスの状況

13世紀後半以降　**ハプスブルク家**の支配が本格化

1291年　スイス3州が独立闘争をおこす

1499年　スイス13州が事実上神聖ローマ帝国からの独立を達成

1648年　**ウェストファリア条約**で独立が正式に承認される

3　北欧の状況

北欧には8世紀から10世紀にかけて，ユトランド半島に**デンマーク王国**，スカンディナヴィア半島西岸に**ノルウェー王国**，スカンディナヴィア半島東岸に**スウェーデン王国**が成立。

1397年　ドイツ騎士団の台頭などに対抗するため，3国がデンマーク王女**マルグレーテ**の主導のもと〔　　　　　　　　　　　　〕を締結，3国の**同君連合**が成立

※デンマークが優位に立つ。

1523年　**スウェーデン**がカルマル同盟から離脱

まとめ

金印勅書では，神聖ローマ皇帝は選帝侯の選挙によって選出されると定められ，以降領邦諸侯によるドイツの分裂に拍車がかかった。
カルマル同盟で同君連合の結成を主導したデンマークが，北欧の主導権を握った。

Chapter 2　イタリア, スペイン, ポルトガルの状況

目標
イタリアの分裂状況はどのようなものだったのだろうか。
スペインがレコンキスタ（国土回復運動）を完成させた経緯を学ぼう。

1　イタリアの分裂

イタリアの分裂の様子

①南部イタリア

1282 年　**両シチリア王国**の過酷な支配に反発したシチリア島民が反乱をおこす

13 世紀末　シチリア王国と，イタリア半島の〔　　　　　　　　　　〕に分裂

②北・中部イタリア

A　12 世紀以降　神聖ローマ皇帝の**イタリア政策**に対し, 政策を支持する〔　　　　　　〕（ギベリン）と反対する〔　　　　　　〕（ゲルフ）に分かれて抗争

※ギベリンは農村領主出身の貴族に，ゲルフは都市の大商人に支持者が多かった。

B　北イタリアでは，ヴェネツィア，フィレンツェ，ジェノヴァ，ミラノなどの都市国家が覇権を争う

2　イベリア半島の状況

①スペイン

８世紀に後ウマイヤ朝が成立して以降，キリスト教徒がイスラーム教徒からイベリア半島を奪回するため〔　　　　　　　〕（**国土回復運動**）を進め，奪回された土地に，**カスティリャ・アラゴン・ポルトガル**の３国が成立

1479 年　カスティリャ女王〔　　　　　　〕とアラゴン王〔　　　　　　　　　〕の結婚により両国が統合，**スペイン王国**が成立

レコンキスタの進展

1492 年　イスラーム勢力の拠点である**ナスル朝**の〔　　　　　　　〕を占領して国土を統一。レコンキスタを完成させる

※イサベル女王は**コロンブス**の航海を支援するなど，海外進出を進める。

②ポルトガル

12 世紀　カスティリャから独立

15 世紀後半　国王**ジョアン２世**のもとで統一国家となる

※国王は**バルトロメウ＝ディアス**の航海を援助するなど，インド航路開拓を進め，ヨーロッパ人による海洋進出の先駆けとなる。

まとめ

イタリアにはローマ教皇領が存在し，南部には両シチリア王国，北中部には都市国家が分立していた。
カスティリャ王国とアラゴン王国が合併してスペイン王国が成立し，ナスル朝を滅ぼしてレコンキスタを完成させた。

第8講 PART5 確認問題

1 金印勅書を発布して，皇帝選挙制を定めた神聖ローマ皇帝はだれか。

① カール５世 ② オットー１世
③ カール４世 ④ ハインリヒ４世

2 15 世紀前半から神聖ローマ皇帝位を世襲し，スイスも支配した有力な家系はどれか。

① メディチ家 ② ハプスブルク家
③ ヴァロワ家 ④ ザクセン家

3 17 世紀半ばに，スイスの独立を正式に承認した条約を何というか。

① ブリュッセル条約 ② ヴェルダン条約
③ パリ条約 ④ ウェストファリア条約

4 14 世紀末，北欧の３国の間で結ばれた同盟を何というか。

① カルマル同盟 ② ハンザ同盟
③ ロンバルディア同盟 ④ ライン同盟

5 ８世紀以降，キリスト教徒がイベリア半島を奪回するために行った戦いを何というか。

① 十字軍 ② ジハード
③ レコンキスタ ④ 百年戦争

6 イベリア半島のイスラム政権であるナスル朝の都はどこか。

① トレド ② グラナダ
③ コルドバ ④ マドリード

7 15世紀後半に，カスティリャとアラゴンが統合して成立した国を何というか。

① ポルトガル王国 ② デンマーク王国
③ スペイン王国 ④ ポーランド王国

8 スペインのイサベル女王が援助した，ジェノヴァ出身の船乗りはだれか。

① コロンブス ② ヴァスコ＝ダ＝ガマ
③ マゼラン ④ バルトロメウ＝ディアス

第 8 講　PART 5　確認問題 解答

1 解答：③　金印勅書は皇帝**カール 4 世**が発布した。印章に黄金が用いられたので，この名前がある。

2 解答：②　**ハプスブルク家**は 10 世紀にスイスでおこった家系で，1438 年から 1806 年に帝国が滅亡するまで，ほぼ神聖ローマ皇帝位を世襲した。

3 解答：④　**ウェストファリア条約**は，1648 年にヨーロッパのほとんどの国が参加して締結された三十年戦争の講和条約で，ここでスイスの神聖ローマ帝国からの独立も承認された。

4 解答：①　**カルマル同盟**は，スウェーデン南東の都市カルマルで結成された。

5 解答：③　**レコンキスタ**は，8 世紀初めから 1492 年のグラナダ陥落まで約 800 年間続いた。

6 解答：②　**グラナダ**はスペイン南部アンダルシア地方の都市で，ナスル朝の王宮アルハンブラ宮殿が残る。

7 解答：③　1479 年，カスティリャとアラゴンの統合によって**スペイン王国**が成立した。

8 解答：①　イサベル女王の援助を受けた**コロンブス**は，1492 年にスペインのパロス港を出港し，西廻りでインドを目指した。